

川崎重工業株式会社

2026年10月5日

**船舶の総括操縦システム「KICS®」にタグボート向け機能を追加**

**～海上実証試験を経て、受注活動を開始～**

川崎重工は、ジョイスティックを用いた船舶の総括操縦システム「KICS®※1」に、タグボート※2特有の作業省力化に貢献する定点保持・船首方位保持などの自動化機能を追加しました。実際のタグボートを用いた海上実証試験で機能性や有用性を確認し、このたび受注活動を開始しました。



追加試験に関する海上実証試験を行った  
日東タグ株式会社のタグボート 「希鳳丸（きほうまる）」



「KICS®」操作ユニット

「KICS®」は、可変ピッチプロペラ、旋回式スラスト、サイドスラスト、舵など、複数の操船要素を総括し、ジョイスティックで直感的に操作することができるシステムです。これまでに、フェリーやRORO船※3、SEP船（自己昇降式作業台船）、ケーブル敷設船など、計130隻を超える納入実績を有します。

当社は、本システムの多様な船舶への適用拡大を目指し、タグボート向けの機能の開発を進めてきました。タグボートは、港湾における大型船の円滑な荷役や入出港などに欠かせない船舶です。一方で、特殊な操作を伴うため操船難易度が高く、乗組員への負担が大きいことに加え、操船技術の習得には多大な時間を要します。また、昨今の人手不足を背景に、次世代への操船技術の伝承も深刻な課題となっています。

こうした課題に対し、当社はこれまで大型船向けを中心に培ってきた「KICS®」の特長であるジョイスティックによる直感的な操作に加え、タグボート特有の作業に対応した自動化機能（定点保持機能、船首方位保持機能など）を実現しました。これにより、乗組員の負担軽減や操船技術習得の容易化に貢献します。

なお、追加機能の開発・検証にあたっては、岡山・瀬戸内、阪神エリアでタグボート事業を展開する日東タグ株式会社（岡山県倉敷市）の協力のもと、同社が長年にわたり蓄積してきたタグボート運航に関する豊富な知見を機能開発に反映しながら、海上実証試験を重ねました。

当社は今後も、お客様が抱える課題の解決に最適な操船ソリューションの提供することで、安全安心な海のモビリティの実現を目指します。

※1 Kawasaki Integrated Control System の略

※2 主に他の船舶や水上構造物を押し曳きするための船。港湾で大型船の離接岸をサポートするほか、大型船が他の船舶や障害物と衝突することを避けるための進路警戒を目的としたエスコートを行う

※3 Roll-on/Roll-off 船の略。トラックやトレーラーなどの車両を自走で積み込み・積み下ろしできる特殊な貨物船。

#### <関連リンク>

船舶の総括操縦システム「KICS®」について

<https://www.khi.co.jp/mobility/marine/machinery/kics.html>

以上